

授業概要

本講義では、様々な心理療法やカウンセリングの基本や歴史を講義するとともに、訪問による支援や地域支援、心の健康教育、コミュニケーションの方法、プライバシーへの配慮などについて講義する。講義全体を通して、人々の心理的な問題や苦痛に関わる様々な支援活動について講義する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション・心理学的支援とは何か
第 2 回	心理学的支援の歴史
第 3 回	心理学的支援における専門性と倫理的配慮
第 4 回	心理的支援の方法 1：クライアント中心療法
第 5 回	心理的支援の方法 2：フォーカシング
第 6 回	心理的支援の方法 3：精神分析
第 7 回	心理的支援の方法 4：応用行動分析
第 8 回	中間試験・振り返り
第 9 回	心理的支援の方法 5：認知療法・認知行動療法
第 10 回	心理的支援の方法 6：システムズ・アプローチ
第 11 回	心理的支援の方法 7：プレイセラピー
第 12 回	心理的支援の方法 8：集団療法
第 13 回	心理学的支援を行うためのコミュニケーションの方法
第 14 回	関係者に対する支援、訪問支援、地域支援
第 15 回	心の健康教育
第 16 回	定期試験

到達目標

- 代表的な心理療法ならびにカウンセリングの歴史の知識を身につけ、適応や限界を捉えることができる。
- 良好の人間関係を築くためのコミュニケーションの方法の知識を身につけ、それに基づき自分のコミュニケーションを振り返ることができる。
- 心理的支援でのプライバシーへの配慮の必要性を説明できる。
- 訪問による支援や地域支援、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援の現状や意義を捉えることができる。
- 心理的支援での心の健康教育の現状や意義を捉えることができる。

履修上の注意

- 本講義受講にあたって、「心理学概論Ⅰ」ならびに「心理学概論Ⅱ」を取得済みであることが望ましい。
- 大幅な遅刻・早退、その他受講態度に問題がある者は出席とみなさず、退室を求める。(講義時に配布するコメントカードを受け取り、これを講義終了時に提出すること。)
- 本講義に関連して、心理学に関する調査や実験の協力を依頼する可能性がある。
- その他の注意事項について初回の授業時に伝えるため、初回授業には必ず出席すること。

予習・復習

- 【予習】受講済みである他の心理学関連の講義の内容を振り返っておくこと。
 【復習】授業で紹介した資料や書籍を読み、理解を深めること

評価方法

講義各回で提出を求めるコメントカード(約 30%)と中間試験・定期試験(併せて約 70%)に基づいて評価を行う。

テキスト

特に指定しない。講義は配布資料に基づいて進め、参考書はその都度紹介する。